

ものづくり補助事業成果事例

食品用軟包装材自動処理装置導入による生産性向上プロジェクト

当社は熊本県八代市にあるパッケージ用のプラスチック製品製造企業です。ものづくり補助事業で食品用軟包材の2次加工の自動化設備導入に取り組み、2次加工における製造時間の短縮と機械制御による加工精度の向上を目指しました。

事業取り組みの経緯

当社は、主に食品などを包装する際に使用される三方袋と呼ばれる袋の加工を行っています。袋の加工工程は、まず1次加工として製袋機を使って袋の形状に加工し、必要に応じて袋の4角を丸く仕上げる、コーナークットと呼ばれる加工を2次加工として行い、その後製品となります。

近年、コーナークット加工までされた袋の受注が増えてきており、受注増による生産性の向上や顧客への納期対応が課題となっていました。2次加工は人手に頼る加工のため作業に時間が掛かることから、2次加工を機械化することで生産性向上を目指しました。



平成29年度同補助事業で導入した三方製袋機

実施内容

今回の補助事業で、包材コーナークット装置「LTC-10型」を導入。課題としていた、作業時間の短縮と機械制御による加工精度の向上を図りました。1次加工で用いる製袋機のラインに、LTC-10型を設置することにより、1次加工と2次加工を同時に行うことが可能となりました。

事業取り組みの成果

装置導入で出荷までの作業時間が大幅に短縮されました。手加工では一度に袋の4角の1か所しか打ち抜けませんでしたが、導入した新しい装置は4か所同時に打ち抜くことが出来ます。作業時間は機材の導入前と比べて約3分の1に短縮できました。

手加工では、材質・袋の大きさ・シール幅の大きさなど



補助金活用のポイント！

品質の安定と食の安全、安心をお届けすることを基本として大切に取り組んでいます。

補助金に取り組む際は、地元の商工会議所に常駐する専門家のアドバイスがとても役立ちました。



求める事業パートナー及び支援策

「食」への安心・安全の要求が日々高まる中、安全、安心な製品作りをさらに目指します。ハード面では工場のクリーンルーム化、また、ソフト面は社内の「品質管理基準」「衛生管理基準」を改善して高品質な製品づくりに努めます。

平成26年度の
ものづくり補助事業により弾みが付き、
平成29年度ものづくり補助事業では
新型の三方製袋機を導入しました。今後も
取引先や消費者からのさまざまな要望に
応えていけるように、設備や組織力の
強化を図ります。

加工形状の調整が必要です。また、加工ムラが発生することがありました。導入した設備は、最初に条件を設定するだけで、一定のスピードで同じ形状の加工が可能となるなど、加工精度が向上しました。



「補助事業の活用で新しい事業にチャレンジすることが出来ます」と話す加工衛生管理担当の松浦弘さん

COMPANY PROFILE

松浦製袋

代表者名 代表 松浦 幹夫
設立年月 1993年5月
所在地 〒869-5151
熊本県八代市敷川内町2885-1
TEL 0965-31-0635
FAX 0965-31-0635
URL なし
資本金額 なし
従業員数 4人
業種 プラスチック製品製造業

代表
松浦 幹夫さん

平成26年度ものづくり補助事業で導入した食品用軟包装材自動処理装置